

第6回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 次第

日 時：平成17年10月 3日(月)

午後1時30分から

場 所：清浄園 2階 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

第5回委員会の会議録について

4 議題

(1) 建設除外地域の確認・・・・・・・・・・・・・・(資料1)

(2) 候補エリアの選定方針の検討・・・・・・・・・・・・・・(資料2)

(3) 候補エリアの抽出・・・・・・・・・・・・・・(別 図)

(4) 候補エリアの評価、絞込み・・・・・・・・・・・・・・(資料3)

5 その他

次回委員会 10月下旬から11月上旬

6 閉 会

上田地域広域連合 資源循環型施設建設候補地選定委員会 委員名簿

(敬称略)

平成17年10月 3日

選出	市町村	氏名	備考
住民代表者 (8人)	上田市	栗田 高子	住民代表
	東御市	宮原 則子	"
	丸子町	上沢 恵人	"
	長和町 (旧長門町)	高角 秀	"
	真田町	若林 政夫	"
	武石村	釜井 善男	"
	長和町 (旧和田村)	樋口 勲	"
	青木村	小山 敏子	"
学識経験者 (2人)	上田市	木口 憲爾	信州大学繊維学部教授 (応用生物科学科)
	上田市	表 秀孝	長野大学産業社会学部教授 (工業経営・環境経営学)
広域連合 議会代表者 (5人)	上田市	川上 清	広域連合議会 議会代表者会座長 (上田市議会副議長)
	上田市	外山 愷	広域連合議会 総務委員会委員長 (上田市議会議員)
	上田市	南波 清吾	広域連合議会 保健福祉委員会委員長 (上田市議会議員)
	東御市	柳澤 旨賢	広域連合議会 保健福祉委員会副委員長 (東御市議会副議長)
	丸子町	片桐 ひさ久	広域連合議会 総務委員会副委員長 (丸子町議会議長)

*委嘱期間：平成17年5月から平成18年3月まで

事務局

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原 英 隆
上田市役所 廃棄物対策課	課 長	田 中 行 房
東御市役所 市民課	課 長	大 村 興 敬
丸子町役場 生活課	課 長	新 井 忠 雄
真田町役場 観光商工課	課 長	滝 沢 徹 雄
武石村役場 建設環境課	課 長	掛 川 兼 司
青木村役場 住民福祉課	課 長	中 澤 知賀雄
長和町役場 町民課	課 長	小宮山 正 幸
上田地域広域連合事務局	事務局長	市 村 良 夫
	ごみ処理広域化推進室 室長	宮 澤 俊 文
	ごみ処理広域化推進室 主任	塩 入 学

コンサルタント

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部	環境施設部 課長	尾葉石 優
	環境施設部 主任技師	井 土 將 博
	環境施設部 主任技師	荻 山 徹

建設除外地域の確認

表1 建設除外地域の抽出決定事項（第5回まで）

主題図区分	調査・整理項目
地形	山地、丘陵地、台地・段丘、低地、
標高	400m～600m、600m～800m、800m～1,000m、1,000m以上
地質	未固結堆積物、半固結堆積物、固結堆積物、火山性岩石、深成岩類、活断層位置
都市計画	都市計画区域、用途地域(工業系以外)、用途地域(工業系)、公園・緑地、その他都市施設、伝統的建造物群保存地区
農地	農業振興地域、農用地区域
自然環境保全	国立・国定自然公園区域、3県自然環境保全地域、郷土環境保全地域、鳥獣保護区、特別保護地区
林地	国有林、民有林、保安林（土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保林）
防災1	河川、砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域
防災2	地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険区域
下水道	公共下水道計画区域、特定環境保全公共下水道区域、農業集落排水区域、コミュニティプラント事業区域、浄化槽設置整備事業区域
文化財	史跡・名勝・天然記念物、埋蔵文化財
上水	水源位置、水道水源保全地区
道路網	主要道路
鉄道網	圏域内鉄道路線
公共施設等の分布	学校、幼稚園、保育園、病院、老人保健福祉施設、レクリエーション施設、開発予定区域、その他
住宅地等	住宅地、4主要道路・鉄道・河川に挟まれる狭小な区域

- 1 第5回まで 建設除外地域抽出決定事項
- 2 候補地が絞り込まれた中で除外地域が範囲に入った場合、除外地域も含め柔軟に検討できるものとする。
- 3 圏域内に「県自然環境保全地域」の指定はない。
- 4 主要道路、鉄道、河川に挟まれる区域で、区域の幅が150mに満たない区域とした。

候補エリアの選定方針（案）

(1)・・・第1次選定 (2)・・・第2次選定以降

1. 周辺環境への配慮

- (1) 施設の建設による周辺環境への影響が少ないエリアを選定する。
- (2) 常に周辺住民から施設の安全が確認できるエリアを選定する。

2. 地域特性

- (1) 周辺住民が集い易く、楽しめるエリアを選定する。
- (2) 地域住民の関心が持てるようなエリアを選定する。
- (2) ごみ問題の教育、啓発するセンター的な機能が十分発揮できるエリアを選定する。
- (2) 廃棄物関連施設があまり集中しないエリアを選定する。

3. 収集運搬効率

- (1) 主要道路（トンネルは除く）から1 km以内のエリアを選定する。

4. 省エネルギー、クリーンエネルギー、資源循環

- (1) 省エネルギーの視点で収集車の走行距離を出来るだけ少なくなるようなエリアを選定する。

5. 防災

- (1) 災害を受けにくいエリアを選定する。

6. 土地利用

- (1) 地形が比較的平坦なエリアを選定する。

第1次選定 選定方針に基づくエリアの評価（案）

項目			
1.(1) 周辺環境への 配慮	自然環境保全地域から 離れている	自然環境保全地域が近い 位置にある	自然環境保全地域が隣 接している
2.(1) 地域特性	誰もが集まりやすい	集まりにくい区域がある	集まりにくい区域が多 い
3.(1) 収集運搬効率	8割以上が主要道路か ら1km以内に含まれ る	5割程度が主要道路から 1km以内に含まれる	主要道路から1km以 内5割以下である
4.(1) 省エネルギー、 クリーンエネ ルギー、資源循 環	エリア間の総延長距 離・台数が15万km・ 台以下である	エリア間の総延長距離・ 台数が20万km・台以 下である	エリア間の総延長距 離・台数が20万km・ 台以上である
5.(1) 防災	危険箇所が隣接しない	危険箇所が一部隣接する	危険箇所が多く隣接す る
6.(1) 土地利用	平坦な場所が多い	平坦な場所が半分程度	平坦な場所が半分以下

第一次 選定方針に基づくエリアの評価表（案）

評価項目 エリア番号	周辺環境	地域特性	運搬効率	省エネ	防災	土地平坦
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						

年間運搬距離によるエリアのグループ分け(評価表:省エネ) 別図参照

エリア名	総運搬距離 km・台/年	順位	グループ分け	エリア評価
エリア12	97,897	1	第1グループ	
エリア11	107,497	2		
エリア8	109,936	3		
エリア9	110,278	4		
エリア10	130,094	5		
エリア18	137,243	6		
エリア14	137,721	7		
エリア17	138,108	8		
エリア16	154,481	9	第2グループ	
エリア2	162,116	10		
エリア3	167,051	11		
エリア13	169,085	12		
エリア5	176,626	13		
エリア7	182,912	14		
エリア1	186,609	15		
エリア4	194,975	16	第3グループ	
エリア6	213,390	17		
エリア20	223,192	18		
エリア19	237,433	19		
エリア15	237,453	20		
エリア21	285,919	21		

収集エリアごとの総運搬距離算定式

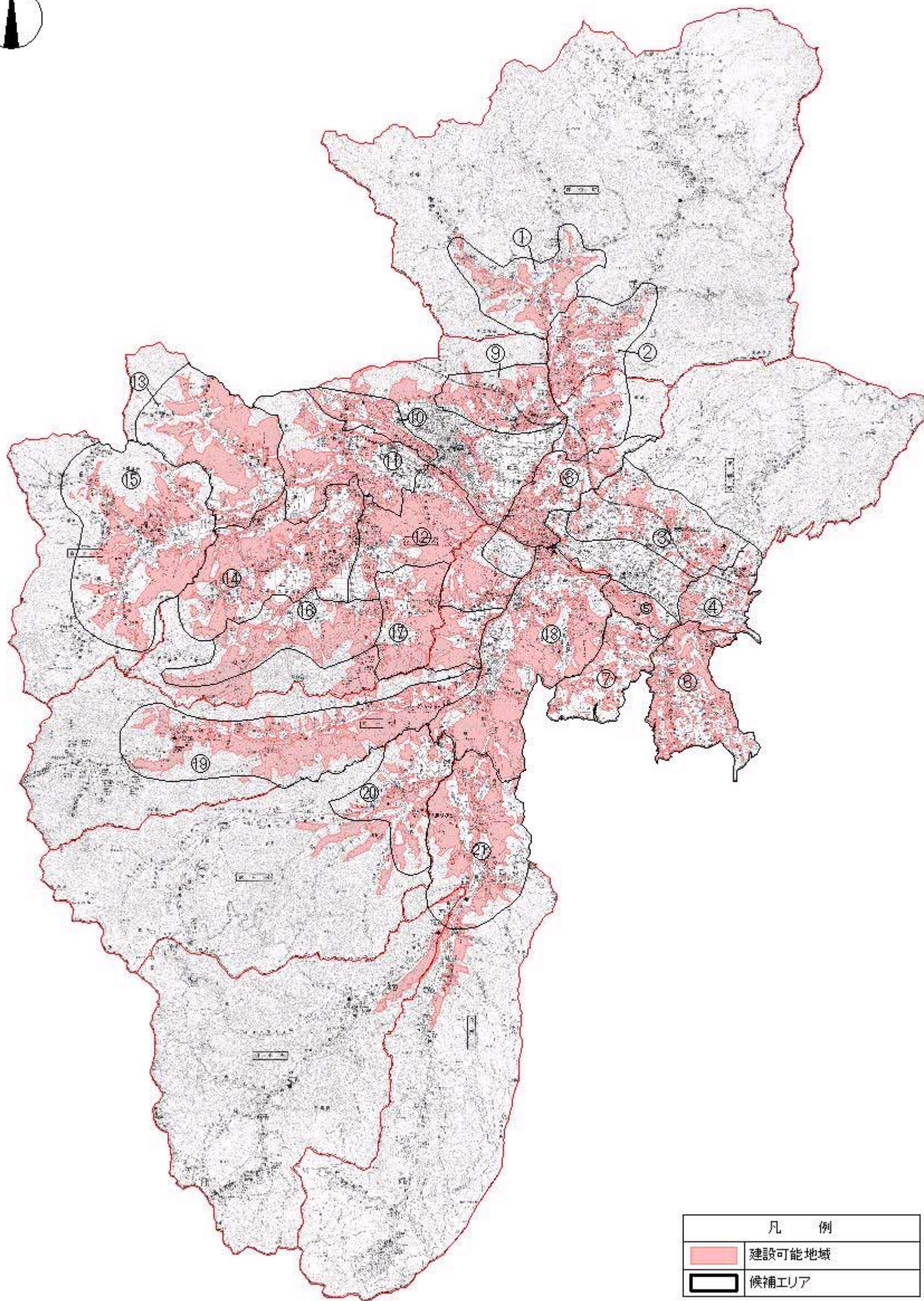
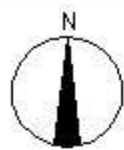
(エリア人口:平成12年国勢調査字別人口、ごみ原単位:平成14年度一般廃棄物実態調査)



年間ごみ発生量(t) = エリア人口(人) × ごみ原単位(g/人・日) × 365日

年間エリアの車両台数(台) = 年間ごみ発生量(t) ÷ 4.0t(収集車1台)

年間総運搬距離(km・台) = 各エリア間の直線距離の合計(km) × 各エリアの年間車両台数の合計(台)

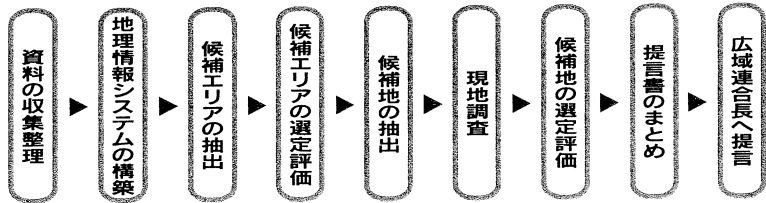
エリア区分図



凡 例	
	建設可能地域
	候補エリア

資源循環型社会を目指して!!

建設候補地の選定までのフローチャート



●資源循環型施設の建設にむけて

上田地域広域連合では、平成10年度に策定いたしました「上田地域広域連合ごみ処理広域化計画」に基づき、資源循環型施設（統合ごみ処理施設及びリサイクルプラザ）の建設に向けて取り組んでおります。今年度、住民参加による資源循環型施設建設候補地選定委員会を設置し、候補地の選定作業を進めております。現在、地理情報システム（GIS）を活用し、河川、急傾斜地、農用地、史跡・名勝などの建設除外項目を検討し、建設可能なエリアを抽出してまいりました。今後、さらに細かく候補地の選定方針などを決め、より安心で安全な資源循環型施設の建設を推進していきます。

●住民の皆さんのご協力で焼却ごみは減少しています

上田地域広域連合では、上田、東部及び丸子クリーンセンターの設置、管理運営に関する業務を行なっています。ここ数年、伸び続けていた焼却ごみ量も、住民の皆さんのご協力により減少の傾向が続いております。現在、広域連合では、施設の統合に向けて計画を進めていますが、必要最低限の施設とすることを目指しています。地域住民の皆さん、事業者の皆さんには、さらなるごみの減量化、資源化の取り組みに、ご協力をお願いします。

●事業系資源紙ごみの資源化に取り組みます

クリーンセンターで焼却しているごみの中には、資源化できる紙類が多く含まれています。リサイクルできる紙類が、ごみとして多く出されています。菓子の箱、メモ用紙、おもちゃの箱、紙袋、はがき、封筒、トイレットペーパーの芯などを、チラシと一緒にまとめる、細かい紙片を封筒に入れるなど、資源回収にご協力をお願いします。つきましては、減量化目標の一環として、事業系資源紙ごみの資源化を推進するため、平成17年12月から上田クリーンセンターについては、搬入を制限いたします。丸子・東部クリーンセンターについても18年度中に搬入を制限する予定ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

生ごみを堆肥化しましょう!

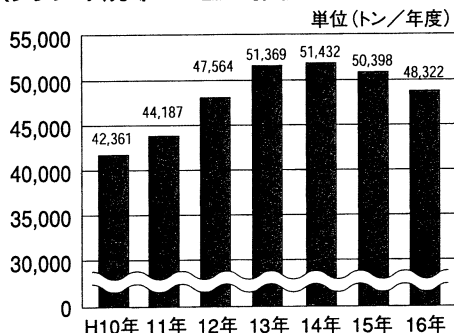
クリーンセンターで焼却されるごみの中には、生ごみも多く含まれています。家庭で堆肥化をしていただくか、堆肥化できない方は、水切りを徹底してください。

家庭でできる、生ごみ堆肥化の取り組み事例

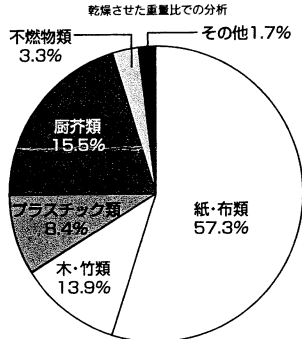
ビートモス（水苔が数年堆積したもの）と、もみ殻くん炭を入れたダンボール箱に、生ごみを入れてかき混ぜるだけで、簡単に処理できます。ぜひお試しください。詳しくは、エコハウス（上田クリーンセンター敷地内）まで、お問い合わせください。（☎0268-23-5144）



〈グラフ1〉焼却ごみ量の推移（3クリーンセンターの合計）



〈グラフ2〉ごみの組成（H14～16年平均）



上田地域広域連合 事務局 上田市天神2-4-55 ☎0268-23-2130

ごみに関してのお問合せは各クリーンセンターへ

ごみ処理広域化推進室 ☎0268-23-2104
上田クリーンセンター ☎0268-22-0666

東部クリーンセンター ☎0268-63-6814
丸子クリーンセンター ☎0268-43-2131